

# The Road 町田人

— 2021年の夢のつづき —

2018年1月に市制60周年を記念して開始した「まちだ〇ごと大作戦18-20+1」（以下、〇ごと大作戦）。

2021年12月に終了したが、作戦を継続して地域で活動している人がいる。

実行委員会の副委員長を務めた町田市町内会・自治会連合会会長の安達氏と、地域で活動している桐生氏、永島氏に話を聞いた。



NPO法人レスポアール相原

リハラボ訪問看護リハビリステーション町田

町田市町内会・自治会連合会 会長

桐生 明敬 氏 × 永島 匡 氏 × 安達 廣美 氏

撮影協力 Bar小峰

## 〇ごと大作戦での活動は。

**安達:** 〇ごと大作戦は、市民や地域の「やってみたい夢」の実現を応援する取り組みで、エントリーいただいた「作戦」は300件を超えました。内容は本当に多岐にわたります。終了してしまうのが寂しいと思っていました。

**桐生:** 私は相原中央公園に桜を植える作戦に携わりました。相原中央公園の山に桜を植えて一面ピンク色にしようというプロジェクトです。かつて地域にあった雑木

林は、木を切って薪にしてという再生のサイクルがありましたが、今はそれがなくなり木が伸び放題になっていました。そうすると木の病気などの発生原因になるので、雑木をきちんと管理して植樹をしよう、同時に地域の憩いの場所が作れたらという思いで始めました。〇ごと大作戦では60本植えましたが、まだ全体の4分の1も植えられていない。地元のNPO法人と協力しながら続けていきたいと思っています。

**安達:** 桐生さんとは、東京2020オリンピック・パラリンピックのロードレースのときに、小山の三ツ目山公園に花で地上絵を作る作戦で一緒しましたね。上空からの中継映像に映えるようにと、公園の斜面にたくさんの花を植えました。

**永島:** 私は作業療法士としてリハビリの仕事をしている中で、行きたいところがあるのに行けない、やりたいことが

あるのにやれないという方々に多く接してきました。そういう方々の移動の手助けをしたいと活動する中で、鞍掛台の買い物・外出支援の作戦に出会いました。これは、福祉事業所の送迎車を使わない時間に、地域の買い物の足として使ってもらおうというプロジェクトで、町内会・自治会を中心に地域の事業所などいろいろな機関が協力して進めています。私はそのホームページを制作したり、SNSで発信したり広報活動を行っています。